

2023年3月20日

No. 638

4月、7月、9月、11月、1月、3月
20日発行

発行人
〒960-8502 福島市南中央三丁目36番地
公益社団法人 福島県畜産振興協会
電話 (024) 573-0515
FAX (024) 573-0565
URL <http://fukushimalin.gr.jp/index.htm>
anteil@bz03.plala.or.jp
kanri-eiseika@bz03.plala.or.jp
keikai@bz03.plala.or.jp
編集者 伊藤 純一
印刷所 (株) 第一印刷

福島牛の魅力を海外へ!! Fukushima Delicious発信事業

福島県農林水産部農林企画課

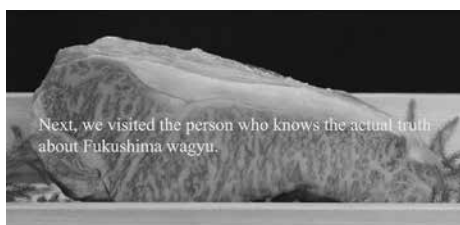
福島県農林水産部では、東日本大震災後、輸入規制の措置を継続している国・地域に対し、輸出商材としてのPRやインバウンド需要の喚起を行うことを目的として、県産農林水産物の魅力を最大限に訴求する動画を制作・公開しています。

今年度は、EU・香港向けに「福島牛」の動画を制作・

配信し、「#福島牛の和牛デリシャス」に相当するタグを付した投稿としてSNSで拡散を図りました。

日本語字幕が付いた動画も、県の公式YouTubeチャンネルに掲載しておりますので、是非ご覧下さい。

(以下の2次元コードをスマートフォン等で読み取ることでご覧いただけます。)



EU 向け



香港向け

また、令和4年度から県産農林水産物のブランド力強化の取組の一環で、「福島県農林水産部FA宣言」と銘打って、県産農林水産物や農山漁村の魅力、震災後の復興・風評払拭に向け懸命に努力されている生産者の皆さんの姿などを、職員自らが現場目線で直接取材し、動画等により発信する取組をスタートしております。

制作した動画は、以下の2つの農林水産部公式YouTubeチャンネルで公開中!

○「1400のネタばらし」チャンネル

約1400人いる農林水産部職員が自由な発想で企画・制

作した動画です。

○「ふくしま旬物語」チャンネル

産地や生産者の長年にわたる創意工夫に加え、地理的表示(GI)、認証GAPの取得、県オリジナル品種など「福島ならではの」魅力を伝えるための動画です。

今後、畜産物を含め、様々な農林水産物の動画を制作していきます。

両チャンネルについて是非ご覧いただき、チャンネル登録をお願いします!



1400のネタばらし



ふくしま旬物語

本県畜産業の振興・PRに向け、引き続き情報発信に取り組んでまいります。

高病原性鳥インフルエンザへの対応と今後の対策について

福島県農林水産部畜産課

昨年、伊達市と飯舘村の養鶏農場において、本県で初となる高病原性鳥インフルエンザが発生しました。いずれの発生事例においても、昼夜を問わず関係市町村や県内の幅広い団体など多くの皆様の御尽力により、迅速に防疫措置を完了することができました。この書面をお借りして、ご協力いただいた関係者の皆様方に心より感謝申し上げます。

なお、1例目及び2例目の防疫措置に関する概要は、以下のとおりであり、家畜伝染病予防法、国の防疫指針等に基づき対応を行いました。

【概要】

1 例目（伊達市）肉用鶏約1.4万羽飼養

- 11月29日 疑似患畜確定 殺処分開始（6：10）
移動制限区域（半径3km内）設定（1箇所約1万4千羽）
搬出制限区域（半径3～10km内）設定（22箇所約63万羽）
車両消毒ポイントを4箇所設置
殺処分終了（23：35）
- 12月15日 清浄性確認検査（※）で異常がないことを確認し、搬出制限区域を解除
- 12月22日 国と協議のうえ、移動制限区域を解除
動員者数：延べ442名
内訳：県職員 365名
市町村職員 59名
団体職員 18名
- ※制限区域内における清浄性を確認するため、発生農場の防疫措置完了後10日が経過した後に、移動制限区域内で100羽以上を飼養するすべての家さん農場において実施する検査

2 例目（飯舘村）採卵鶏約10.3万羽飼養

- 12月7日 疑似患畜確定 殺処分開始（16：00）
移動制限区域設定（2箇所17羽）
搬出制限区域設定（24箇所約157万羽）
車両消毒ポイントを4箇所設置
- 12月9日 殺処分終了（22：10）
- 12月22日 国と協議のうえ、搬出制限区域を解除
- 1月2日 国と協議のうえ、移動制限区域を解除
動員者数：延べ885名
内訳：県職員 646名
市町村職員 178名
団体職員 61名

県内での高病原性鳥インフルエンザの発生を受け、県といたしましては、養鶏農場への消毒命令を発出したうえで、100羽以上を飼養する農場への消石灰の配布（2回散布分）を実施しました。また、家畜保健衛生所では、養鶏農場への注意喚起を継続的に行うほか、適切な飼養衛生管理と早期発見・早期通報の徹底について指導を実施し、養鶏農場の意識向上と防疫対策の強化を図っております。

また、発生農場においては、殺処分した鶏等に対する国の手当金に関する事務手続きをはじめ、営農再開に向けた鶏舎内の清掃・消毒やウイルス検査など、各種サポートを実施しており、周辺農場についても、移動の制限等による損失を受けた農場に対して、助成を行ったところです。

さらに、発生直後から、人の健康相談をはじめとした各種相談窓口を設置したほか、鳥インフルエンザの情報や鶏肉・鶏卵の安全性について、ホームページやチラシの配布により積極的に情報発信を行いました。店舗訪問などによる調査の結果、風評に該当するような表示や消費者による買い控え等がなかったことを確認しております。

今シーズンは、全国的に高病原性鳥インフルエンザが続発し、殺処分羽数は1,500万羽を超え、過去最多を更新しています（令和5年3月7日現在）。3月に入り、渡り鳥が北の営巣地へと帰り始めているものの、昨シーズンの国内最終発生が5月14日であったことから、今シーズンも5月中旬までは、引き続き警戒が必要です。また、近年、毎年のように高病原性鳥インフルエンザの発生が続いており、来シーズン以降も流行の可能性があることから、今回の発生を踏まえ、より迅速かつ的確な防疫対応のため、農場毎の防疫計画の更新や備蓄資材の充実、各地域での防疫演習の開催等、万が一に備えた防疫対策の強化を進めてまいります。

高病原性鳥インフルエンザの発生は、農場の経営に甚大な損失を与え、地域の養鶏業への影響も大きくなります。発生を予防するためには、何よりも養鶏農場における取組が肝要となることから、養鶏農場の皆様方には、野生動物の侵入経路の遮断や消毒の実施、畜舎専用の長靴や衣服の設置・着用等、目に見えない病原体を鶏舎内に持ち込まないための対策の再徹底をお願いします。また、畜産関係者の方々には、養鶏農場に対し、適切な飼養衛生管理の徹底について御指導くださいますようお願いいたします。

畜産関係者の皆様におかれましては、高病原性鳥インフルエンザの発生予防、まん延防止の取組の重要性について御理解いただき、これまで同様、福島県の畜産振興と家畜衛生の推進に御支援と御協力を賜りますようお願い申し上げます。

木目澤次男さん・久實子さんご夫妻 緑白綬有功章受章



福島県酪農業協同組合

去る11月17日(木)、東京都 赤坂インターシティ AIRにおいて、我が国で最も歴史のある農業団体である大日本農会※1主催の第106回大日本農会農事功績表彰において木目澤次男さん・久實子さんご夫妻が、緑白綬有功章・農事功労者(畜産部門)を受章されました。この農事功績表彰は、長年にわたり農業技術や経営改善に挑戦し、地域のリーダーとして技術の導入・普及、産地形成などに貢献した農業者を各都道府県知事からの推薦を受けて送られます。

木目澤さんご夫婦は、乳牛の飼養管理や自給飼料の生産、

資源循環型農業の取り組みなどにおいて、創意工夫による効率的な生産システムを導入し、経産牛1頭あたりの産乳量が地域平均を大きく上回る優秀な酪農部間の経営を確立しました。さらに、夫婦ともに地域の酪農協の役員などを務め地域のリーダーとして、酪農業の発展、後継者及び若手農業者の育成、女性の地位向上に貢献されました。

今回の受章、誠におめでとうございます。さらなるご活躍を祈念いたします。



※1 大日本農会とは…公益社団法人大日本農会は、農業の発展と農村の振興を目的として明治14年(1881年)4月5日に設立されたわが国で最も古い歴史を持つ団体であります。設立時に、北白川宮能久親王殿下が初代会頭に就任されて以来、これまで今日に至るまで皇族を総裁に推戴して参りました。現在は、平成26年10月10日より、第7代総裁として、秋篠宮皇嗣殿下を推戴しています。

福島の大自然とみつばちからの恵み



天然はちみつをどうぞ

福島県養蜂協会

〒960-8502

福島市南中央三丁目36番地(福島県畜産振興協会内)
TEL 024-573-0515 FAX 024-573-0565



美容と健康に
おいしく
はちみつはいかが！

令和5年 福島県酪農業協同組合乳牛市場 新春初セリが開催されました！

福島県酪農業協同組合

1月13日（金）に福島県家畜市場（本宮市）で、令和5年 福島県酪農業協同組合乳牛市場新春初セリが多数の購買者・生産者にご参加頂き、開催されました。

主催者を代表して紺野組合長より、「新型コロナウイルスとの攻防も4年目を迎え、国内では第八波が過去最大の感染拡大をもたらし、世界情勢においては、ロシアのウクライナ侵攻は、世界経済に甚大な影響を及ぼし、私たちの生活と経済活動に様々な形で表面化しています。その様な状況下のなか、セリ市場においては関係者の皆様のご協力により、無事に新年を迎えることができました。また、生産者側として購買者の皆様に喜ばれる子牛作りを行い、よ

り一層活気ある市場を目指し、今年も運営して参ります。本年も宜しくお願い致します。」と挨拶されました。また、新春初セリを祝い、購買者を代表して（有）上野牧場様による乾杯のご発声を頂き、消費拡大として、『酪王牛乳』で乾杯致しました。

その後、初生牛226頭、初妊牛14頭、経産牛1頭がセリで販売され、昨年と比べると、全国的に価格下落傾向ではありますが、全国平均並みで取引されました。

厳しい情勢下ではありますが、明るい未来を信じ、今後とも生産者・購買者の皆様にご満足頂けるよう、より良いセリ市場を運営して参りますので、宜しくお願い致します。



セリ市場の様子



(有)上野牧場様より、牛乳で乾杯のご発声

子牛初セリにおいてPRイベントを開催

うつくしま福島畜産mother'sクラブ e-E N

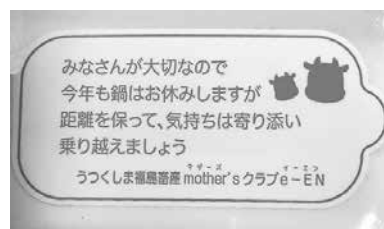
令和5年1月10日、福島県家畜市場で全農福島県本部による和牛子牛市場（初セリ）の開催に合わせアルコール除菌ティッシュの配布による活動PRイベントを開催しました。

このイベントは、新型コロナウイルスの影響により中止となっていた牛鍋イベントに代わり、同じ生産者への励ましの思いを込めた活動をしたと、2度目の実施となりました。

一般財団法人畜産環境整備機構副理事長 原田英男氏との座談会も実施し、1分間スピーチでは、見通しがつかない不安、苦しい経営の中で気持ちを直接口にする機会がなかったのが、思いを吐き出し、気持ちを再確認する貴重な時間となりました。



座談会



配布したアルコール除菌ティッシュ



福島県酪女性部 やまびこ会 主催 ひまわりコンクール審査会開催



福島県酪女性部やまびこ会

福島県酪女性部やまびこ会（会長 中瀬 明美）では畜舎環境美化運動を行っており、毎年その成果を披露する機会として、写真によるひまわりコンクールを行っております。

今年も去る2月2日（木）福島県酪農業協同組合 会議室に於いて、令和4年度のひまわりコンクールの審査会が開催されました。

今年度も畜舎周辺の美化を目指した「畜舎環境の部」・

「一般花壇の部」と「酪農生活の部」の計3部門で開催し、応募作品数は、昨年よりも少なかったものの、お忙しい中、寸暇を惜しんでの手入れのいき届いたことが伺える素敵な作品ばかりで、応募された方の努力の成果が伺えました。応募いただきありがとうございました。

審査の結果入賞者は次のとおりです。

〈畜舎環境の部〉最優秀賞 県中 福田 祐子さん
 〈一般花壇の部〉最優秀賞 県中 佐藤 恵美さん
 〈酪農生活の部〉最優秀賞 県中 福田 祐子さん

ひまわり賞 県中 佐藤 恵美さん
 ひまわり賞 県中 味戸 巴子さん



畜産環境の部 最優秀賞 福田祐子様



畜産環境の部 ひまわり賞 佐藤恵美様



一般花壇の部 最優秀賞 佐藤恵美様



一般花壇の部 ひまわり賞 味戸巴子様



酪農生活の部 最優秀賞
 「親子で搾乳体験」
 福田祐子様



審査会の様子

なお、応募いただいた作品については、4月以降、福島県酪農業協同組合 本所、各事務所にて、月替わりで展示いたしますので、お立ち寄りの際は、ぜひ、ご覧ください。

福島県農業総合センター畜産研究所の研究成果発表会を開催しました

令和5年3月8日、郡山市の福島県農業総合センターを会場に、福島県農業総合センター畜産研究所の「令和4年度研究成果発表会」を開催しました。

この発表会は、畜産研究所の取り組みにより得られた試験研究成果について、研究成果の現地への迅速な技術移転や、地域農業の活性化を支援することを目的に毎年開催しているものです。また、県内各地より参加できるよう、会場とオンラインで実施しました。

今年度は成果4課題の発表（表1）と、東北農業研究センター研究員を講師とし、国産の濃厚飼料として期待されている子実トウモロコシの最新の試験研究や、当研究所から福島県の和牛改良に向けた試験研究について、計2題話題提供を行いました（表2）。

福島県農業総合センター畜産研究所

発表会では、試験内容について活発な意見交換が行われ、特に話題提供の子実トウモロコシや和牛改良への関心が非常に高いことが伺えました。

本成果発表会でいただきましたご意見は、今後の当所の試験研究に反映させて参ります。



発表風景

表1 発表成果

番号	発表成果名	担 当
1	福島県独自に肉用牛のゲノミック評価ができる	動物工学科
2	市販の綿棒で採材した鼻腔内試料でもゲノミック評価が可能	動物工学科
3	搾乳牛におけるトールフェスクとオーチャードグラスの採食性は同等である	飼料環境科
4	特定復興再生拠点区域における飼料作物の栽培実証	飼料環境科

表2 話題提供

番号	題 名	担 当
1	子実トウモロコシの栽培・給与技術の現状と課題	農研機構東北農研センター
2	福島県の和牛改良と肉用牛振興に向けた試験研究の取り組み	肉畜科

福島県養蜂協会 第78回定期総会開催

福島県養蜂協会

2月20日（月）に郡山市の福島県農業総合センターで第78回定期総会が開催され、出席した26名の会員により令和4年度の事業報告及び令和5年度の事業計画など原案通り承認されました。



第78回定期総会

議事に先立ち、昨年8月に開催された第35回福島県はちみつ品評会の表彰が行われ、受賞者を代表して農林水産大臣賞を受賞した磐梯町の鈴木友康氏に東北農政局生産部畜産課山路敬課長から賞状が授与されました。



農林水産大臣賞を受賞した鈴木友康氏

うつくしま福島畜産 mother's クラブ e-EN 令和4年度総会

公益社団法人福島県畜産振興協会

令和4年11月21日「県農業総合センター」(郡山市)において、県内の畜産に携わる女性を対象に、技術の向上、担い手としての意識の高揚、積極的な経営参画並びに情報交換による生産者同士の交流を目的として活動しているマザーズクラブ(会長:木目澤久實子)の総会が開催され、提出議案(収支決算報告・予算、活動計画など)については全て承認されました。

午後よりfuku farming flowersの福塚裕美子氏を講師に、素敵なリース作り教室が開催され、針葉樹をまとめるのに奮闘しながらも、テーマ通りの素敵なリースができました。



リース作り教室で作成したリースを手に

レトルト商品価格改定のお知らせ

資材及び加工経費のコスト上昇により、令和5年販売分より販売価格を税別での価格に改定いたします。値上げのお願いとなり恐縮ですが、何卒よろしくお願いいたします。

	改定前販売価格	改定後販売価格
マザーズシチュー	700円(税込み)	756円(税込み)
おもてなしカレー	700円(税込み)	756円(税込み)
ゴロ煮	1,000円(税込み)	1,080円(税込み)

令和4年度家畜繁殖技術講習会

福島県家畜人工授精師協会

1月24日、日本全薬工業株式会社で「令和4年度家畜繁殖技術講習会」が開催され、県内の家畜人工授精師をはじめ多くの畜産関係者が参加しました。

今回、一般社団法人家畜改良事業団 家畜改良研究所 技術開発部開発第一課 主任 難波陽介(なにわ ようすけ)氏を講師に、「凍結精液の取り扱いに関する最新の情報について」講演がありました。難波氏からは「凍結精液を保存する際の注意点や事業団の二層式ストロー(FCMax)の特徴、研究データから見る利用時の注意点」などの説明がありました。

質疑応答では、精液採取時検査の値についてや精液利用

時に融解場所と授精場所を移動する際の条件についてなど質問がされました。



家畜繁殖技術講習会

肉用子牛のための「強化」哺育専用代用乳」ができました!!



“強化”哺育とは…

- ・子牛が本来もっている発育能力をフルに発揮させる哺乳方法です。
- ・従来の粉ミルクとは全く違った栄養バランスの粉ミルクを、通常よりも多く給与することにより、フレームのしっかりした牛に育ちます。また、固形飼料の摂取量低下を防ぎ、より食い込める素牛への成長を助けます。

福島県酪農業協同組合 〒969-1103 本宮市仁井田字一里壇17 TEL: 0243-33-1101(代)

和子牛生産者臨時経営支援事業について

～和子牛生産者の皆様へ～

和子牛価格の下落に対応するため、臨時的に
和子牛生産者への支援を行います。



〈事業内容〉

市場等で取引される和子牛のブロック別※₁平均売買価格（四半期別※₂）が、発動基準価格を下回った場合に、事業に参加している和子牛生産者に対し、販売頭数に応じて支援交付金（平均価格と発動基準価格との差額の4分の3）を交付します。

〈対象子牛〉

対象となる子牛は以下2つの条件をいずれも満たす子牛です。

- ①黒毛和種、褐毛和種、無角和種、日本短角種、和牛間交雑種
- ②肉用子牛生産者補給金制度に登録済で令和5年1月～12月に販売された子牛

※自家保留・本人取りした子牛は対象になりません。

〈品種区分毎の発動基準価格〉

品種区分	発動基準価格（税込）
黒毛和種	60 万円
褐毛和種	55 万円
その他の肉専用種 （無角和種・日本短角種・和牛間交雑種）	35 万円

※1 黒毛和種についてはブロック別（北海道、東北、本州関東以西・四国、九州・沖縄）、褐毛和種及びその他の肉専用種については全国1ブロックで算定します。

※2 黒毛和種及び褐毛和種は四半期ごと、その他の肉専用種は年間で平均売買価格を算定します。

〈お問い合わせ先〉

公益社団法人福島県畜産振興協会業務課
（TEL：024-573-0514）

または所属のJA畜産課・配飼協などの肉用子牛生産者補給金制度事務委託先へご相談ください。



動物と人の間に、いつもゼノアック。



日本全業工業株式会社
福島県郡山市安積町世川字平ノ上1-1
ZENOAQ www.zenoaq.com



肉用子牛生産者補給金制度発動状況

令和4年度第3四半期（令和4年10月～12月）

（単位：円／頭）

区 分	黒毛和種	褐毛和種	その他の肉専用種	乳 用 種	交 雑 種
保 証 基 準 価 格	541,000	498,000	320,000	164,000	274,000
合 理 化 目 標 価 格	429,000	395,000	253,000	110,000	216,000
平 均 売 買 価 格	614,000	534,100	—	127,400	301,400
補 給 金 単 価	—	—	—	36,600	—

※「その他の肉専用種（日本短角種等）」については、令和2年度より算定期間を1年（4月～3月）としています。

令和4年度第3四半期においては、乳用種について、平均売買価格が保証基準価格を下回ったことから、生産者補給金（補給金単価：36,600円／頭）が交付されることとなりました。

肉用牛肥育経営安定交付金制度（牛マルキン制度）発動状況

（単位：円）

販売月		肉専用種 （東北ブロック福島県）	交雑種（全国）	乳用種（全国）
令和4年10月	確定単価	16,326.0	10,291.5	43,010.1
	概算払い単価	10,375.4	4,468.7	37,063.1
	精算払い単価	5,950.6	5,822.8	5,947.0
令和4年11月	確定単価	0.0	1,765.8	36,964.8
	概算払い単価	0.0	0.0	32,222.0
	精算払い単価	0.0	1,765.8	4,742.8
令和4年12月	確定単価	7,820.1	0.0	49,166.1
令和5年1月	暫定単価	68,303.7	15,301.8	45,878.4
	概算払い単価	61,303.7	8,301.8	38,878.4
	精算払い単価	7,000.0	7,000.0	7,000.0

※生産者負担金の猶予対象牛（コロナ対策）については支払い交付単価の3／4の支払となります。

※令和4年7月販売分より概算払単価は、標準的生産費と標準的販売価格との差額に100分の90を乗じた額から7,000円を控除した額となります。

御 用 命 は

- ◎牛用・豚用・鶏用
各種ワクチン類
- ◎家畜防疫資材
- ◎家畜用医薬品
- ◎家畜用衛生資材

福島県動物薬品器材協会
事務局 株式会社アスコ内
☎（〇二四三）六三一―四八八

小田島商事株式会社
福島市鎌田字卸町十一の四
☎（〇二四）五五三一―六六七八

日本全薬工業株式会社
福島営業所
郡山市安積町笹川字の上二一
☎（〇二四）四五一―四六四

株式会社アグロジャパン
南東北営業部（福島）
郡山市開成六丁目六七―一
☎（〇二四）九五四―四一七一

日新殖産株式会社
伊達市梁川町字東塩野川一五―一
☎（〇二四）五七七―三二二

株式会社アスコ

本宮市本宮字下台18―12
☎（〇二四）六三二―二四八八

『動物用医薬品は、
正しく使用し、
休薬期間を
厳守しましょう』

●品質と信頼の●



くみあい配合飼料



JA全農北日本くみあい飼料株式会社

本 社

〒983-0045 仙台市宮城野区宮城野一丁目12-1 いちご仙台イーストビル
TEL (022) 792-8040(代)

南東北支店 福島営業所

〒963-0725 郡山市田村町金屋字川久保23 JA全農福島郡山ビル2F
TEL (024) 941-0825
FAX (024) 941-0827

家畜取引状況報告

令和5年1～2月 和牛子牛市場成績（県家畜市場）

JA全農福島県本部

（税込み）

開催月	性別	頭数 (頭)	取引価格 (円)			平均体重 (kg)	平均単価 (円/kg)	平均日齢 (日)	販売先	
			最高	最低	平均				県内	県外
1	雌	304	1,051,600	72,600	584,567	294	1,989	291	143	161
	雄									
	去勢	362	1,120,900	63,800	731,105	320	2,287	284	182	180
	計	666	1,120,900	63,800	664,217	308	2,157	287	325	341
2	雌	307	938,300	170,500	506,699	289	1,752	290	200	107
	雄									
	去勢	404	1,092,300	112,200	663,627	318	2,088	283	195	209
	計	711	1,092,300	112,200	595,867	305	1,951	286	395	316

令和5年1～2月 乳子牛市場成績（県家畜市場）

福島県酪農協同組合

（税込み）

開催月	種別	頭数 (頭)	取引価格 (円)		
			最高	最低	平均
1月 第327回	ホル雄	45	52,800	1,100	20,656
	ホルフリー				
	F ₁ 雌	55	192,500	1,100	90,800
	F ₁ 雄	75	268,400	1,100	110,176
	和牛雌	7	416,900	339,900	374,157
	和牛雄	16	552,200	135,300	412,156
	計・平均	198	552,200	1,100	118,183
2月 第328回	ホル雄	44	75,900	1,100	31,125
	ホルフリー	1	1,100	1,100	1,100
	F ₁ 雌	69	275,000	15,400	91,157
	F ₁ 雄	55	224,400	1,100	116,700
	和牛雌	7	663,300	352,000	443,771
	和牛雄	15	551,100	376,200	482,313
	計・平均	191	663,300	1,100	127,853

令和5年1～2月 乳子牛市場成績（県家畜市場）

JA全農福島県本部

（税込み）

開催月	資格	頭数 (頭)	取引価格 (円)			平均単価 (円/kg)	平均体重 (kg)
			最高	最低	平均		
1	乳登						
	妊娠牛						
	E T 和雌	5	385,000	226,600	335,500	3,663	92
	E T 和雄	4	434,500	264,000	355,575	4,323	82
	乳雌牛	1	1,100	1,100	1,100	19	60
	乳雄牛	16	42,900	1,100	17,600	237	75
	乳去勢子						
	F ₁ 雌(育成)						
	F ₁ 去(育成)						
	F ₁ 雌(スモール)	43	159,500	1,100	78,561	1,088	72
	F ₁ 雄(スモール)	56	203,500	1,100	98,391	1,239	79
	計・平均	125	434,500	1,100	98,164	1,279	77
2	乳登						
	妊娠牛						
	E T 和雌	3	341,000	319,000	328,166	4,850	68
	E T 和雄	6	467,500	289,300	411,950	3,531	117
	乳雌牛						
	乳雄牛	22	90,200	1,100	48,050	585	82
	乳去勢子						
	F ₁ 雌(育成)						
	F ₁ 去(育成)						
	F ₁ 雌(スモール)	47	121,000	45,100	84,910	1,150	74
	F ₁ 雄(スモール)	43	212,300	64,900	135,607	1,613	84
	計・平均	121	467,500	1,100	118,472	1,463	81

牛も安心 地球も安心

福島県推奨のたね

県奨励品種優良牧草・飼料作物種子
福島県畜産振興協会

〒960-8502 福島市南中央三丁目36番地

Tel 024-573-0515

Fax 024-573-0565

地方競馬 場外発売日程

上段「ニュートラック福島」(大井競馬専用場外)TEL.024-554-0040
 下段「オーブス磐梯」(大井競馬専用場外)TEL.0242-74-1130

(4月)

日曜	1土	2(日)	3月	4火	5水	6木	7金	8土	9(日)	10月	11火	12水	13木	14金	15土	16(日)	17月	18火	19水	20木	21金	22土	23(日)	24月	25火	26水	27木	28金	29土	30(日)
ニュートラック福島			水沢	笠松	川崎					水沢	園田	船橋					水沢	名古屋					水沢	笠松						
オーブス磐梯			川崎							船橋							大井						浦和							

(5月)

日曜	1月	2火	3(水)	4(木)	5(金)	6土	7(日)	8月	9火	10水	11木	12金	13土	14(日)	15月	16火	17水	18木	19金	20土	21(日)	22月	23火	24水	25木	26金	27土	28(日)	29月	30火	31水
ニュートラック福島	盛岡	船橋	名古屋					盛岡	園田	大井	笠松				盛岡	園田	川崎				盛岡	笠松	大井						水沢	浦和	船橋
オーブス磐梯	船橋							大井							川崎						大井								浦和		



※ 発売日程は、変更になることがあります。

地方競馬の収益金は、畜産振興及び地方財政の改善に活用されています。



地方競馬全国協会